

機械器具 61 歯科用ハンドピース
一般医療機器 歯科技工用電動式ハンドピース 70746000
ボルバー i 7

※【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- 以下のような歯科技工用切削器具(以降はバーという)は使用しないこと。
 - － 振れ、曲がり、傷などがみられるもの
 - － シャンク部に摩耗がみられるもの
- [バー破損、飛び出しによるけがの恐れ]
- バーの製造販売業者が指定する許容回転速度を守ること。[バー破損、モータハンドピースの飛び出しによるけがの恐れ]

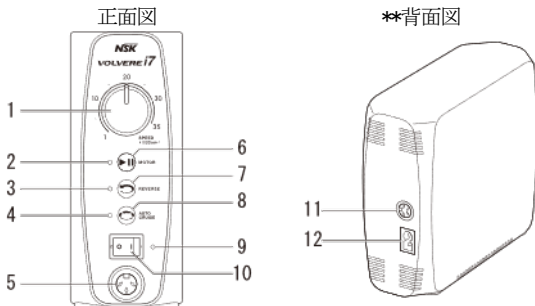
※【形状・構造及び原理等】

1) 構成



2) 各部の名称

＜コントロールユニット＞



名称		
1 回転速度調整ツマミ (SPEED)	7	正逆回転切換キー (REVERSE)
2 ON-OFF LED	8	オートクルーズキー (AUTO CRUISE)
3 逆回転 LED	9	パワー LED
4 オートクルーズ LED	10	電源スイッチ (O/I)
5 モータコードソケット	11	フットコントロールソケット
6 ON-OFF キー (MOTOR)	12	インレット

3) 電氣的定格

電源電圧(又は「定格電圧」): AC100V
電源周波数(又は「定格周波数」): 50/60Hz
電源入力(又は「定格入力容量」): 45VA
詳細については、取扱説明書の仕様を参照。

4) 機器の分類

電撃に対する保護形式の分類: クラス II 機器
詳細については、取扱説明書の機器の分類を参照。

5) 仕様

回転方向: 正転(時計方向)及び逆転(反時計方向)

6) 原理

コントロールユニットから供給された電力によって、モータ内のマイクロモータが回転する。その回転をハンドピース内のスピンドルが受け、その先端に装着したバーが回転する。

【使用目的又は効果】

歯科技工で用いる歯科用バー、リーマ等の回転器具を接続するため、チャックを備えた 1 つのハンドピースから成る歯科用器具をいう。モータを内蔵する。

※【使用方法等】

1) 使用前準備

- ① 初回使用の際は【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い清掃を行う。
- ② コントロールユニット背面にあるインレットに電源コードを接続し、フットコントロールソケットにフットコントロールを接続する。
- ③ コントロールユニット正面のモータコードソケットに、モータハンドピース又は E タイプモータを接続する。
(本品に、モータ「販売名: V マックス、届出番号: 09B2X00016000081」も接続することができる。)
- ④ E タイプモータは、E タイプハンドピース(別売品)を接続する。
- ⑤ ハンドピースにバーを取り付ける。

2) 使用方法

- ① 電源コードを商用コンセントに接続し、電源スイッチを ON にする。
- ② 【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い使用前点検を行う。
- ③ フットコントロール又は ON-OFF キーの操作により、モータを回転させる。

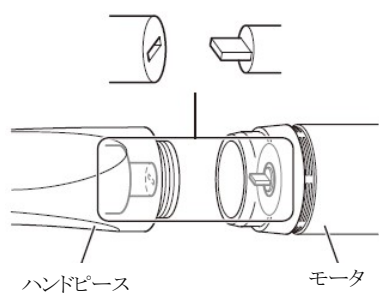
3) 使用后

- ① モータの回転を停止させ、電源スイッチを OFF にする。
- ② コントロールユニットから各構成部品を取り外す。
- ③ 使用后、【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い清掃を行う。

※【使用方法等に関連する使用上の注意】

- ・使用前点検時、又は使用中、振動や発熱、異音、電源等の異常を感じたら、直ちに使用を中止すること。
- ・モータにハンドピースを取り付ける時、急にねじ込みがきつくなる場合がある。これは、モータとハンドピースの回転伝達用クラッチが正しくかみ合っていない状態のため、この時無理にねじを増し締めするとモータが故障する恐れがある。一度ねじをゆるめてハンドピースのチャック又はバーを回し、回転伝達用クラッチが正しくかみ合っていることを確認してから再度ねじを締めること。

伝達用クラッチ



- ・ E タイプハンドピース接続後は、モータとハンドピースを持ち、軽く前後に押し引きして外れないことを確認すること。
- ・ ハンドピースの着脱は、電源を OFF にし、モータの回転が完全に停止してから行うこと。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ・製造販売業者が指定するEタイプハンドピース以外のものを使用する場合、回転・トルクの性能が低下又は発熱する恐れがあるため注意して使用すること。
- ・バーを取り付けていない時は、モータを回転させないこと。[ハンドピース故障の恐れ]
- ・バーを装着する際は、シャンクにごみや汚れが無いことを確認すること。
- ・切削刃部の大きいバー（φ4mm以上）を使用する場合は、なるべく低い回転速度で使用すること。
- ・バーの着脱は、モータの回転が完全に停止してから行うこと。
- ・本品は以下のような環境で使用すること。
温度：0 - 40℃（結露がないこと）
湿度：30 - 75%
- ・保護回路が作動するような負荷での使用はなるべく避けること。[モータの発熱やバー破損、モータハンドピースの早期摩耗の恐れ]
- ・過負荷通知機能を停止した際、モータの過度の発熱に注意すること。
- ・本体背面の通気孔をふさがないこと。
- ・チャックが摩耗した時は新しいものへ交換すること。
- ・本品は製造販売業者により交換部品として販売されるもの以外を接続して使用しないこと。
- ・使用中の万一の故障等に備え、製品のスペアを用意すること。

*【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ・回転中のバーには触らないこと。[けがの恐れ]
- ・モータ回転中は、ハンドピースのチャック開閉リングを回さないこと。特にバー交換の際は、回転が完全に停止してから行うこと。[モータハンドピース破損の恐れ]
- ・コントロールユニット、モータハンドピース外装の変形、部分的な変色に気が付いた時は、すぐに使用を中止すること。[感電、火災の恐れ]
- ・本品から煙が出たり、樹脂の燃えているようなにおいがするなどの異常が発生した場合は、直ちに電源をOFFにして電源コードを取り外すこと。
- ・電磁波を発生させる機器の周辺では使用しないこと。[作動に影響を受ける恐れ]
- ・爆発の危険性のある環境、可燃物質の近辺では使用しないこと。[爆発の恐れ]
- ・直射日光の強いところ、炎天下の車内、火のそば、ストーブの近くなどの高温になる場所での使用や放置をしないこと。[内部回路の故障による過熱、発火の恐れ]
- ・コード類がガスバーナーの近くを通らないようにすること。また、コードが燃えた場合は、補修せず新品に交換すること。[ショートによる感電、火災の恐れ]
- ・万が一の時に速やかに電源コードがコンセントから抜けるように設置すること。また、電源コードから15cm以内に物を置かないこと。
- ・保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しないこと。
- ・ストーブ等の熱源のそばに放置しないこと。[変色・変形の恐れ]
- ・モータハンドピースに注油はしないこと。[発熱、故障の恐れ]
- ・本品でディスクを使用する時は、低い回転速度で使用すること。[破損、飛散の恐れ]
- ・砥石は、必ずドレッシングしてから使用すること。[破損、飛散によるけがの恐れ]
- ・使用時は保護眼鏡、マスク、グローブ等を着用すること。
- ・本品に、水、滅菌水（生理食塩水）、薬品等がかからないようにすること。
- ・本品に消毒液、水、生理食塩水等が付着した場合は、電源を一度OFFにして、かたく絞った布で拭き、その後乾いた布でよく拭き取ること。
- ・酸化電位水（強酸性水、超酸性水）、強酸、強アルカリ性の薬剤、塩素含有の溶液、ベンジン、シンナー等の溶剤で洗浄、浸漬、拭き取りをしないこと。

2) その他の注意

- ・製造販売業者が指定する電源コード以外は使用しないこと。
- ・本品を他の機器と隣接又は積み重ねて使用しないこと。
- ・落下などの強い衝撃を与えないこと。

*【保管方法及び有効期間等】

1) 保管方法（輸送 / 保管環境）

温度：-10 - 50℃
湿度：10 - 85%
気圧：500 - 1,060hPa

2) 耐用期間

製造の日から、正規の保守点検を行った場合に限り7年間[自己認証（製造販売業者データ）による]とする。

*【保守・点検に係る事項】

1) 清掃

<チャック>

週に一度、超音波洗浄器等で清掃する。

・清掃に関する注意

- 清掃を行う前に必ずコントロールユニットの電源をOFFにすること。
- チャックの清掃を長期間怠ると、チャック内にワックス、石膏がたまり、バーの浅噛み、芯ブレの原因になる。

<コントロールユニット、モータハンドピース、フットコントロール>

表面を水拭きし、消毒用アルコールを染みこませた布等で拭き取る。

2) 使用者による保守点検事項

<使用前点検（毎回）>

作動させた時に振動、音、温度（発熱）等の異常がないことを確認する。

<定期点検（3ヶ月毎）>

モータハンドピースにバーを取り付け、モータハンドピースを回転させた時、振動、音や発熱等の異常がないことを確認する。

<消耗品の交換（適宜）>

カーボンブラシが摩耗した時は新しいものへ交換する。

3) 業者による保守点検事項

専用治具、測定器を使用した点検整備については、販売業者までご連絡ください。1年に1回の点検を推奨します。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ナカニシ

ナカニシお客様相談窓口



0120-7242-56

受付時間 9:00 ~ 17:00（平日）

TEL: 0289-64-3380

FAX: 0289-62-5636